

令和5年度(令和4年度実施事業分)主要事業評価シート

No.

20-1

PDCA

主要事業名

放課後児童クラブ施設整備事業

部課名

子ども未来部
子ども育成課

担当

豊田

内線

403

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：1 - 1 - 1

単位施策：子どもと子育て家庭

全体事業期間：令和4年度～4年度

全体事業費等：4,631千円

会計一般会計

歳出科目：03.02.02.12.51

事業概要等

事業概要：既存の委託先放課後児童クラブにおいて支援の単位を新たに設置し、小学校の余裕教室等を活用し長期休業期間中に限定した預かり事業のための施設整備を実施する。

事業目的：既存事業における待機児童の発生を解消するとともに、より一層児童の安心安全な居場所（サードプレイス）づくりの推進を図る。

事業内容：令和4年度については、花園小学校、学童ほーむMAKANAの施設整備を行う。

問題点・課題等：複数の学区で待機児童の発生が懸念されているため、各学区の状況を把握し、既存事業とのバランスを考慮した設計が必要である。

予算額4,631千円

主要事業とする理由

財源内訳

長期休業期間中のみの預かりを求める声に応えるため。また子どもを取り巻く諸問題に対応できる、子どもの居場所（サードプレイス）づくりの推進を図るため。

市費4,631千円

得られる成果

国費0千円

学校の長期休業中の児童の預かりを実施することで、保護者の選択の幅を広げ、ニーズに即した預け先を確保できる。

県費0千円

目標値や目指すべき状態

令和2年度

令和3年度

令和4年度

単位

施設整備数

実績値

目標値

—

—

—

か所

目標値

—

—

2.0

か所

実績値

目標値

—

—

—

—

—

—

その他0千円

目標値

—

—

—

—

—

—

D

実績値
得られた成果と

決算額4,271千円

得られた成果

令和5年度から学校の長期休業中（春夏冬休み）の児童の預かり事業を実施するための施設整備を実施することができた。

成果指標

令和4年度

単位

施設整備数

実績値

1.0

か所

目標値

2.0

か所

—

—

—

—

C

課題の整理

事業の評価・課題

C

令和5年度から学校の長期休業期間中（春夏冬休み）の児童の預かり事業を実施するにあたり、実施場所にエアコンを取り付ける等の環境整備を行うとともに、事業所及び実施場所となる小学校と必要な調整を行った。実施場所の変更が生じたため、1施設の整備となったが、予定どおり、市内中学校区1か所ずつ、計5か所において、実施できるよう必要な調整を行った。

A

課題後の決方向性

今後の事業の方向性

終了

放課後児童クラブ施設整備事業としては一旦完了したが、既存の放課後児童クラブ委託事業の一部として、学校の長期休業期間中（春夏冬休み）の児童の預かり事業を実施するため、放課後児童健全育成事業全体の中で、成果の検証を行う。

観点別評価

必要性

有効性

効率性

①市の関与の妥当性

妥当

④上位施策への貢献

大きい

⑦コスト削減

ない

②市民ニーズ

高い

⑤成果向上の余地

ある

余地

③休廃止の影響

大きい

⑥類似事業の有無

ない

⑧受益者負担適正化余地

ある

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）